



©Yuki Asada

自然そのままの潤いを

地平線まで広がる大地に、どっしりとたたずむシアの木。その大木にたわとなる実は、この地の人々の食や健康になくてはならないもの。ここは西アフリカのブルキナファソだ。

そんなアフリカの魅力に引き込まれ、日本に広めようと奮闘しているのが北海道在住の中島美絵さん。きっかけは、実家で使っていたお母さんの手作り石けんだった。「私も自然の素材からできた化粧品を作って、多くの人に使ってもらいたい」。試作を重ねるうちに、原料として出会ったのが“シアバター”だった。

そして、日本に来ているJICA研修員を通じて、ブルキナファソでシアバターを生産する女性たちと出会った。「シアバ

ターは現地に古くから伝わるもので、すでに製造方法も確立されていました」。化粧品ブランド「ho・mi・su」を立ち上げ、海を超えた共同作業が始まった。

こだわりは、“良いもの”しか使わないこと。現地の女性が作ったシアバターを日本で一つ一つ検品をし、北海道の農場のラードと配合すれば石けんが完成。香料を一切使っていない100%オーガニックのシアバターは、ボディークリームやリップクリームとしても人気だ。動物性と植物性の脂が肌によくなじむ。

「かかとやすねなど乾燥する部分に塗ると、しっとりしてオススメです」と中島さん。これから乾燥が気になる季節、ぜひ一度試してみてほしい。



シアバター作りは現地の女性たちにとって得意な仕事だ

- ★シアバターを4人にプレゼント! → 詳細は38ページへ
- ★シアバターは、ホームページ(homisu.com/)から購入可能。

